

ゆくはし 図書館を使った 調べる学習コンクール

「図書館を使った調べる学習コンクール」は、図書館が持つ力——調べる機能を、広く子どもから大人まで知ってもらい、調べることを通して、知的好奇心・情報リテラシー・読解力・思考力・言語力などの、生涯を通じて「学ぶ」という力を養ってもらうことを目的として行われています。

日頃から疑問に思っていること、もしくはその疑問自体を図書館の力を使って探し、調べ、知識として深めてみましょう。

1. テーマを決める

まずはテーマを決めます。どんなものでも構いませんが、このテーマ決めが最も重要です。自分が面白いと思うもの、不思議に思っていることを探してみてください。4階の参考図書コーナーや3階の新聞・雑誌コーナーを見てみるのもオススメです。

例) テーマ “行橋市”

「行橋市」という大きなテーマから、連想されるワードを下の図1のように書き出します。

書き出した中のひとつを作品のテーマに据え、図2のように疑問に思うことやその理由を書き出していきます。



“行橋市”から“御所ヶ谷神籠石”に絞ってみようかな！

これだけ連想できた！
あとはこれに沿って調べていだけね！



もしテーマが思い浮かばない場合は・・・図書館を歩いて回り、棚を覗いてみるのはいかがでしょうか？

0	総記	図書館・博物館・ジャーナリズム・百科事典
1	哲学	哲学・宗教・心理学・倫理学
2	歴史	日本史・世界史・伝記・地理・紀行
3	社会科学	政治・法律・経済・社会・教育・民俗
4	自然科学	数学・物理・化学・宇宙・地学・植物・動物・医学
5	技術	建築・機械・電気・海洋・金属・製造・生活
6	産業	農業・園芸・畜産・林業・水産業・商業・交通
7	芸術	絵画・書道・写真・工芸・音楽・演劇・スポーツ
8	言語	日本語・辞典・作文・外国語
9	文学	文学史・詩歌・小説・エッセイ・日記・外国文学

本との出会いは人それぞれ。
「タイトルに惹かれてー」
「装丁が気になって・・・」など
直接資料に触れ、新しい知識
の扉を開いてみてください。



図書館の資料はこのように分類（NDC＝日本十進分類法）順に並んでいます。

主に0～5は4階、6～9は3階にあります。フロアを行き来するのが大変だという方は、すべての分類が同じ階に集まっている児童フロアがオススメです。児童書は子ども向けに書かれている資料ですが、分かりやすく要点がまとめられているので、「きっかけ探し」には最適です。

また、図書館の資料は、全てが^{かい}開架に並んでいるわけではありません。

古い資料・貴重資料は、^{へい}閉架に保管してあります。^{オパ}OPAC（Online Public Access Catalog＝所蔵目録）ではそれらを含めた資料の検索ができます。館内 OPAC と webOPAC があり、どちらも同様にかんたん検索と詳細検索ができます。

館内 OPAC では資料レシートが印刷できるので、その場で資料を探すのにとっても便利です。

Web OPAC はお家でゆっくり資料を探せます。貸出中のものにはその場で予約も入れられます。

<Web OPAC・当館ホームページ>

<https://librio.libweb.jp> （2025.5.15 アクセス）

トップ画面の「かんたん検索」から調べたいキーワードを入力して探す
もしくは、その下にある「詳しい検索」から絞って探す

※資料の予約にはパスワードが必要です。トップ画面の「ログインする」→「利用照会」から登録できます。

★LINE も始めました。お友達になってアカウント連携すれば、資料検索・予約・延長・返却期限の確認などが一気にできてとても便利です！こちらもトップ画面よりアクセスできます。



読み取りは
コチラ

2. 調べる計画を立てる

○本で調べる

図書館の資料には、背表紙にラベルが貼ってあります。このラベルには分類記号（NDC）と図書記号（著者名の頭文字など）が書かれており、その順番に資料が並んでいます。検索機を使うと、自分の探したいジャンルの本がどの分類でどの棚にあるかが見つけやすいです。

※別置記号や保管場所はよくご確認ください。

B（文庫）、保管場所：閉架、郷土資料など



○雑誌・新聞で調べる

行橋市図書館は、雑誌100誌以上、新聞7紙を定期購読しています。どのような雑誌があるかは、棚を直接ご覧になるか、OPAC でご確認ください。

新聞の保存期間は1年間です。古い新聞を調べたい場合はデータベースがオススメです。（コピーも可）

○図書館が契約しているデータベースで調べる

行橋市図書館は3つのデータベースを契約しています。紙媒体ではできない新聞記事の検索や、一度で沢山の事典や辞書を引くことができます。

また図書館ホームページ下方にある「行橋市デジタルアーカイブ」では『行橋市史』（一部）、「大橋村 行事村 宮市村見取図」、「行橋市増田美術館作品」（一部）の閲覧が可能です。

当館契約のデータベース一覧

- ・西日本新聞データベース（1989年～）
- ・日経テレコン（日経各紙1975年～、企業データ等）
- ・ジャパンナレッジ（国内最大級の事典、辞書サイト）

これらは、3階インターネットブースで利用できます。

ログインが必要ですので、スタッフにお声掛けください。

○インターネットで調べる

インターネット上でも様々な情報にアクセスすることができます。発信元の信頼性が高いもの（行政関係や出版社等）や情報ソース（いつ頃の情報が、引用元や参考文献が載っているか）がはっきりとしているものを選んで利用しましょう。

*調べものに役立つサイト（サイト名で検索可）

- 🔍 リサーチ・ナビ（国立国会図書館）（<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>）
- 🔍 総務省統計局（<https://www.stat.go.jp/>）
- 🔍 e-Gov（デジタル庁）（<https://www.e-gov.go.jp/>）
- 🔍 官報（内閣府）（<https://www.kanpo.go.jp/>）
- 🔍 福岡県立図書館 調べものに役立つリンク集（<https://www.lib.pref.fukuoka.jp/hp/reference/links/index.htm>）

（すべて 2025.5.15 アクセス）

館内にはフリーWi-Fiがあり、タブレットの貸出も行っています。ぜひご利用ください！



○図書館スタッフに相談する（レファレンスサービス）

図書館スタッフが調べもののお手伝いをします。求める資料がどこにあるか、どんな資料を見ればいいのかなど、調べる上で困りのことがあれば、お気軽にお尋ねください。

○相互貸借・複写依頼を利用する

当館に所蔵がない資料は、“相互貸借”という形でほかの図書館から借りられたり、複写依頼をすることが出来ます。お気軽にスタッフまでお問い合わせください。（受取までにはお時間がかかります。計画的にご利用ください。）また、福岡県立図書館のHPでは、求めている資料が県内のどの図書館にあるかを調べられる“横断検索”もできます。そちらも併せてご利用ください。

*福岡県立図書館 HP (<https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/>) 2025.5.15 アクセス



読み取りは
コチラ

知っていました??



福岡県民であれば、福岡県立図書館の利用者カードがwebや郵送で作れます。利用者になれば、パーソナルサービス(県立図書館の所蔵資料の最寄り館貸出・返却、電子書籍の閲覧など)が受けられるようになります。詳しくは、福岡県立図書館のHPをご確認ください。

館内の学習スペース

座席の種類	席の説明
1F コワーキングスペース	飲食可能で、打ち合わせやグループ学習などが利用できるスペース。
2F 児童閲覧席	児童が利用しやすい高さの小さな閲覧・学習席。 (子どもたちが利用しやすい空間づくりのため、中学生以上の方の学習はご遠慮ください。本の閲覧は可能です。)
3F ブラウジングコーナー	図書館資料の閲覧専用。(学習での利用はご遠慮ください。)
3F アクティブラーニング	可動式の机やホワイトボードを設置。グループ学習などが可能なスペース。
3F インターネットブース	インターネット検索と3種のデータベースの利用が可能。 (詳細は3ページを参照してください)
4F サイレントフロア	静かに読書・学習がしたい方向けのフロア。 (利用には座席指定の受付が必要になります。事前予約はできません。)
4F サイレントルーム	キーボード・マウス操作、電卓の使用、会話等が <u>禁止</u> の部屋。 より静かな環境で利用したい方向け。

※座席についているコンセントは、持ち込みパソコン・タブレット等のご利用時に使用できます。

※盗難防止のため貴重品は必ず身に付けていただくか、1階のロッカーをご利用ください。

※荷物を置いての長時間の離席はご遠慮ください。



目的に合わせて、調べものをしやすい座席をご利用ください！

○図書館以外で調べる

知識を知識だけで終わらせるより、実際に体験してみるのもオススメです。

動物園や水族館に観察に行ったり、博物館や美術館で本物を見たり、身近な人や専門家にインタビューしたり、道具をそろえて実験したり…。

図書館のそとにも新たな発見はたくさんあります!それらを見つけて調べ物の内容をよりいっそう充実させましょう!

3・調べたことを記録する

調べたことは「調査カード」として記録すると、あとでまとめる時に便利です。(次ページに用紙あり)
資料で調べたことや引用文は「」や“”を付け、自分の考えと区別できるように書きましょう。

＊調査カード(書籍)版の例

No.	調べること			No. と調べる事柄
みほん				
著者名	タイトル			資料の必要な部分を引用・要約
出版社	出版年	ページ	請求記号	
				出典 (どんな本からの情報か)

※ No. …自分の文章のどこにその調査カードの資料が使われているかを示す番号

※調査カード(web 情報)版の出典には、そのサイトの制作者・更新された日付・URL・アクセス日を記入

引用の書き方をもっと詳しく知りたい方は、「図書館を使った調べる学習コンクール」HP より
「参考文献リストの書き方」をご覧ください。

(<https://concours.toshokan.or.jp/concours/reference>) 2025.5.15 アクセス



読み取りは
こちら

○図書館での複写について

図書館では、複写物の使用目的が個人の調査・研究・学習の場合のみ、図書館所蔵資料の一部分を複写することができます。複写物の提供は、一人につき一部です(著作権法第31条より)。文章を書き取るには多い場合やあとで要約して使いたい場合などにご利用ください。

※3 階または4階カウンターにて申請書にご記入の上、セルフサービスでのご利用となります。ご注意ください。

※雑誌や新聞の最新号は複写できませんのでご注意ください。なお、図書館のインターネットブースで閲覧できる Web サイトのコピーは、この限りではありません。

＊資料の複写可能範囲

資料例	範囲
単行本	全体の半分まで
地図	1 枚の半分まで (地図帳の場合、1 つの地図の半分まで)
写真・絵画	個々の写真・絵の半分まで
楽譜	個々の楽譜・歌詞の半分まで

複写した資料の出典も、
忘れずに記録しましょう！



調査カード（書籍）

※必要な分をコピーしてご利用ください。

No.	調べること		
著者名	タイトル		
出版社	出版年	ページ	請求記号

No.	調べること		
著者名	タイトル		
出版社	出版年	ページ	請求記号

調査カード（web 情報）

※必要な分をコピーしてご利用ください。

No.	調べること		
制作者名		Web サイト名（ページ名）	更新日付
URL			アクセス年月日

No.	調べること		
制作者名		Web サイト名（ページ名）	更新日付
URL			アクセス年月日

4.まとめる

調べ終わったら、すべての情報をまとめます。冊子タイプや新聞タイプなど、まとめる形は色々。

具体的な例として、当館2階「調べる学習コーナー」に展示してある過去の応募作品や Web サイト「図書館を使った調べる学習コンクール」より「入賞作品を見る」(<https://concours.toshokan.or.jp/work>) (2025.5.15 アクセス) をご覧ください。

興味深い作品がたくさん載ってます！
見るだけでも楽しい！



読み取りは
コチラ

*まとめ方の例

○テーマを選んだ理由 (序論)

何故このテーマにしようと思ったのかを、読み手に分かるように書きます。またその時に、予想や仮設を立てたなら、それも書くと尚良いでしょう。

○何をどう調べたか (本論)

書きためた調査カードを並べ、その道筋が読み手に伝わるように工夫します。カードにしておくと、順番を簡単に換えられ、全体の組み立てがしやすくなります。本文(表紙・目次・参考・引用文献一覧は含みません)は50ページ以内に収めてください。写真やイラスト等を添えると、尚良いでしょう。

○結論

調べて分かったこと、それを踏まえての考察などを書きます。調べる前と後で変わったことなどもあれば書きましょう。

○参考文献

参考・引用文献一覧を作ります。このリストは、完成品の巻末に付けてください。

○目次

全体の流れが決まったら、目次を考えます。ページ番号も入れましょう。

○タイトル・表紙

完成した作品に相応しいタイトルと表紙を作りましょう。表紙は作品の顔となります。
工夫を凝らしましょう。

*作品の順番例

表紙 ⇒ 目次 ⇒ 本文(序論・本論・結論) ⇒ 参考・引用文献

自分の作品がカタチ
になると嬉しい！



参考資料

著者名	タイトル	出版社	出版年
藤田 節子	図書館活用術 新訂第3版	日外アソシエーツ	2011
寺尾 隆	図書館徹底活用術	洋泉社	2017
沼崎 一郎	はじめての研究レポート作成術	岩波書店	2018

Web制作者	Webサイト名	URL	更新日付	アクセス日
公益財団法人 図書館振興財団	図書館振興財団 調べる学習コンクール	https://concours.to/shokan.or.jp/	2025.4.1	2024.5.15

協力

海老名市立有馬図書館（神奈川県海老名市）<https://ebina.city-library.jp>（2025.5.15アクセス）

田川市立図書館（福岡県田川市）<https://tagawa-biblio.jp/>（2025.5.15アクセス）

主催

行橋市図書館・行橋市教育委員会

皆様のご応募
お待ちしております！

